

パブリック・サービス研究分科会 6月 報告書	
日時	2016年6月17日(金) 14:00~17:00
場所	文教大学 越谷キャンパス
記録	太田(明星大学)
参加者(氏名五十音順)	太田(明星大学)、常盤(文教大学)、山本(日本体育大学)

【文献講読】14:00~15:00

今期の活動テーマとして検討している「学生協働」「学習支援」に関する文献を検討した。「学生協働」「学習支援」について会員の共通理解を目的に、以下の3本を各自が事前に読んだうえで月例会へ参加し、「学生協働」「学習支援」について議論した。

1. 長谷川敦史. 近年の大学図書館における学生協働：その動向と、図書館サービスにおけるピアサポートの意義. 図書館雑誌. 2015, 109(1105), p.774-776.
2. 森實彩乃. 図書館で働きたい人へ. 情報の科学と技術. 2014, 64(6), p.223-229.
3. 八木澤ちひろ. 大学図書館における学生協働について：学生協働まっぷの事例から. カレントアウェアネス. 2013, (316), p.10-14.

「学生協働」の内容を八木澤を参考に整理し、それぞれの文献で挙げられている学生協働の課題について話し合った。「学生協働」は幅広い活動を含むことが確認されたことから、どの部分へ焦点をしばって研究テーマとするかが今後の検討課題としてあがった。また、研究成果物の発表方法についてアイデアを出しあった。

【文教大学越谷図書館見学】15:00~16:00

今回の会場である文教大学越谷図書館を見学した。開館当初から全面開架を採用して“開かれた図書館”がコンセプトになっている。PC室やグループ学習室の設置など、現在の学習スタイルにあわせながらも独自のサービスに努めている。学生団体「ほんだな係」による本の展示“推し本”など学生の力も活用されている。

【講義】16:00~17:00

文教大学越谷図書館館長補佐・課長鈴木正紀氏より、「文教大学越谷図書館の現状と課題：ある中規模大学図書館の事例」というタイトルで文教大学図書館の歴史と現状、並びにこれからの大学図書館と職員のあり方についてお話をうかがった。資料(パワーポイントスライド)を当サイト「[講義録](#)」へアップ予定。

【次回月例会開催予定】

日時：7月21日(木)

場所：芝浦工業大学 豊洲キャンパス

以上